

宇都宮市立今泉小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	79.2	74.9	72.4
	書くこと	78.4	73.4	72.2
	読むこと	79.2	69.7	68.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	81.8	77.8	73.7
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	79.2	74.9	72.4
	書く能力	78.4	73.4	72.2
	読む能力	79.2	69.7	68.5
	言語についての知識・理解・技能	81.8	77.8	73.7

【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	58.0	51.9	51.2
	書くこと	39.8	34.0	34.4
	読むこと	62.2	57.5	57.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	70.8	70.5	69.8
観点	国語への関心・意欲・態度	39.8	34.0	34.4
	話す・聞く能力	58.0	51.9	51.2
	書く能力	39.8	34.0	34.4
	読む能力	62.2	57.5	57.3
	言語についての知識・理解・技能	70.8	70.5	69.8

★国語に関する質問紙調査の状況

○良好なもの ●課題が見られるもの

○ほとんどの質問に対して、それぞれの質問の全国平均を上回っている。

●「国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか。」に対する肯定的な回答の割合が75.6%で、全国の75.8%をわずかに下回っている。

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	A 領域の平均正答率は79.2%で、全国平均より4.3ポイント高い。 B 領域の平均正答率は58.0%で、全国平均より6.1ポイント高い。 ○質問の意図を捉え、適切なものを選択する設問の正答率は、70.1%と全国平均より9.9ポイント高い。	・話す・聞く能力を高めるために、児童が自分の意見や考えを述べたり相手の話を集中して聞いたりする機会を、国語の時間ばかりではなく会話科や日常のいろいろな場面で数多く設定する。
書くこと	A 領域の平均正答率は78.4%で、全国平均より5ポイント高い。 B 領域の平均正答率は39.8%で、全国平均より5.8ポイント高い。 ●分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらに関係付けながら書く設問では、全国平均より5.6ポイント高いが正答率32.5%と、すべての設問で最も低い。	・文章から分かったことや疑問に思ったことをまとめて、テーマに沿って文章を書く機会を多く設定し、目的に応じて適切な文章を書く力を高めさせる。 ・国語の時間だけでなく、自主学習や日記、その他の場面でも自分の思いや考えを書く活動を充実させる。
読むこと	A 領域の平均正答率は79.2%で、全国平均より9.5ポイント高い。 ○新聞の投稿を読み、表現の仕方を捉える設問の正答率は84.4%で、全国平均より12.7ポイント高い。 B 領域の平均正答率は62.2%で、全国平均より4.7ポイント高い。 ○詩の解釈を問う設問では、平均正答率66.2%と全国平均を17.7ポイント上回った。	・朝の読書や読み聞かせなどの機会を捉えて同じ作者や同じテーマの作品を紹介するなど、効果的な読書活動の充実を図る。 ・物語文を読んでいく際に、細かい表現や場面の情景を表す言葉を丁寧に取り上げながら、場面や心情の変化を考え、主題を読み取れるようにする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	A 領域の平均正答率は81.8%で、全国平均より4ポイント高い。 ●故事成語の意味と使い方の設問では、全国平均より11.1ポイント高いが、正答率は61%と、国語Aの設問では最も低い。 B 領域の平均正答率は70.8%で、全国平均より0.3ポイント高い。	・日頃からことわざや故事成語を用いて話をし、意味や使い方が身に付くようにする。 ・新出漢字は丁寧に指導するとともに、漢字ドリルなどによる繰り返し練習で定着を図る。またこまめに漢字テストを実施し、確実に定着できるようにする。